

河内大橋

個別施設計画

個別施設計画参考様式(案)

1. 施設概要

施設名称	事業実施期間(供用開始年度)	管理者	路線名(架橋河川名等)	造成事業	施設の場所
河内大橋	平成15年3月	豊後高田市	農免農道河内線(桂川)	河内農免農道	豊後高田市佐野
適用基準(道路橋示方書)の年度	設計荷重	緊急輸送道路指定の有無	特記事項(※現況規制の有無)		
平成8年12月	25	無			
施設規模	橋長(支間長)	全幅員(うち歩道)			
	93.4	7.7			
	上部工形式	使用鋼材	塗装の有無	支承形式	落橋防止装置の有無
	2径間連続PCポステン箱桁橋	PC鋼材	有	反力分散支承(タイプB)	有
	橋台工形式	基礎形式	橋脚工形式	海岸からの距離(km)	
	逆T式橋台	直接基礎(支持層:凝灰角礫岩 OR 泥岩 N>50)	小判柱張出式橋脚(小判型壁式橋脚)	5.3	
	道路付属物、占用物件				

2. 施設の状態

調査内容	[H27. 11. 21の橋梁点検調査] 損傷状況の把握、対策区分の判定及び健全性の診断
調査結果	[H27. 11. 21の橋梁点検調査結果] 健全度: II 現状では直ちに利用者被害に至る程度の変状はなかった。ただし、0.3mm以下のひび割れ等については引き続き監視を行う。
劣化原因等の推定	ひび割れの発生要因は施工後のコンクリートの収縮作用の影響と考えられる。

3. 長寿命化対策概要

点検計画等を含む管理方針	直ちに利用者被害に至る程度の変状は確認されなかったが、ひび割れ等について、今後進行する可能性があるため、日常点検にて監視することとする。 次回の点検は平成32年度とする。
対策の予定時期(案)	変状は軽微であるため、要経過観察とし、今後の点検時に施設の機能が損なわれると判断される場合に対策を実施することとする。
対策費用(概算見込)	

	H26	H27	H28	H29	H30
対策費用(長寿命化)(百万円)					
対策費用(更新)(百万円)					
点検計画		定期点検			
	H31・R1	R2	R3	R4	R5
		定期点検			

橋梁点検のチェック表(案)

(実施年月日: H27年11月21日 (月))

項目		チェック	留意事項
①	上部構造 主桁	<input checked="" type="checkbox"/>	ひびわれ、漏水、遊離石灰、うき、施工不良
②	横桁	<input checked="" type="checkbox"/>	ひびわれ、変色・劣化、土砂堆積
③	床版	<input checked="" type="checkbox"/>	土砂詰り
④	舗装	<input checked="" type="checkbox"/>	土砂堆積
⑤	高欄	<input checked="" type="checkbox"/>	防食機能劣化・腐食
⑥	下部構造 橋脚	<input checked="" type="checkbox"/>	ひびわれ、剥離、遊離石灰
⑦	橋台	<input checked="" type="checkbox"/>	ひびわれ、漏水、遊離石灰、漏水、滞水
⑧	基礎	<input checked="" type="checkbox"/>	
⑨	支承部	<input checked="" type="checkbox"/>	
⑩	法面(護岸等)	<input checked="" type="checkbox"/>	
⑪	その他	<input checked="" type="checkbox"/>	

点検調書 橋梁変状・異常箇所写真位置図(案)

(参考資料)

橋梁名	路線名	所在地	緊急輸送道路	代替路の有無
河内大橋 カワチオオハシ	農免農道河内線	大分県豊後高田市佐野	なし	なし
管理者名	調書作成年月日(初回)	路下条件	占用物件(名称)	
豊後高田市耕地林業課	平成27年11月21日			

部材単位の診断

点検者 |(株)キョウワ

点検責任者 | 畝本 清人

点検時に記録

部材名		変状の種類・状況等	備考(写真番号、位置等が分かる)
上部構造	主桁	ひびわれ、漏水、遊離石灰、うき、施工不良	
	横桁	ひびわれ、変色・劣化、土砂堆積	
	床版	土砂詰り	
下部構造		ひびわれ、漏水、遊離石灰、漏水、滞水	
支承部			
その他			

橋梁の変状、異常箇所写真位置図

※ 橋梁のポンチ絵を描いて、クラックや不具合箇所をスケッチする。

※ 点検時期によってスケッチの色を変えるなど工夫する。